

会 議 録

会議名	辰野町文化財保護審議会（第2回）
開催日時	平成25年10月28日（月） 午後1時30分～午後5時00分
場所	町民会館 104号学習室
出席者	14名中 12名（審議委員8名、事務局4名）
会議次第	※ 現地視察 1. 開会 2. あいさつ 3. 協議事項 (1) 文化財保護経過報告について (2) 天竜界のケヤキについて (3) 台風18号通過に伴う指定文化財等の毀損について (4) 文化財パトロール結果について (5) 指定候補物件の審議について (6) 掲額の調査について (7) 『辰野町資料』の発行計画について (8) その他 4. その他 5. 閉会
会議内容	※現地視察へ ・源上神社（川島） ・赤羽焼かま ・天竜界のケヤキ 1. 開会 2. あいさつ 3. 協議事項 (1) 文化財保護経過報告について 別紙のとおり (2) 天竜界のケヤキについて 伐採処理費用について補助金要請があったが、助成は難しい。

(3) 台風18号通過に伴う指定文化財等の毀損について

- ・ 矢彦神社の社叢 南側の大きなケヤキが周囲の木を巻き込んで根こそぎ倒れた。
- ・ 見宗寺山門 屋根の銅板の葺きが北風に煽られて捲れてしまった。格子窓も落ちた。
南側の飛沫除けも一部外れて飛ばされた。
- ・ 宮木諏訪神社の社叢 社叢の南側の杉の木が折れ、民家へ倒れ、屋根と車の一部を壊してしまった。
- ・ 今村のカヤ 枝が一本、風に煽られて落ちた。
- ・ 法性神社の社叢 社叢の南側の杉などが風に煽られて折れて倒れた。
- ・ 薬王寺のサクラ 風に煽られて枝が相当数落ちた。
- ・ 荒神社の社叢 境内の南側の杉や檜が5、6本倒れ、一部は玉垣を倒した。

(4) 文化財パトロール結果について

① 北部：

- ・ 藤沢マセガキの一本松
完全に枯れている。
- ・ 藤沢山の神
モミ、ツガ 一本ずつだが、腐りが入っている。
- ・ 宮ノ原神明宮のケンポナシ
隣の倒れ掛かっているヤマザクラの大木が腐っており危険。
- ・ 宿ノ平のサイカチ
民家の上に張り出していた枝が折れて、処理されていた。
道路側の枝が腐り、そのうち折れることが予想されるので監視を続けていきたい。

② 竜東：

- ・ 沢入のヤマナシ
樹勢が非常に衰えている。日照時間を多くして樹勢回復していかなければならない。
- ・ 御陵塚とサワラ
空洞になっていることにより、腐朽には繋がらないが、幹のカルスが乗る妨げになる。
- ・ 見宗寺山門
標柱の下部が腐って地面に置いてあったので、変えた方が良い。
- ・ 赤羽焼きのかま
修繕結果は良好。

御陵塚とサワラは樹木医に診断して貰い、処置の為の見積もりを出している。

③ 竜西： 11月早々に実施予定。

(5) 指定候補物件の審議について

明治時代の役場庁舎が現存するのは珍しい。県内では4棟しかなく、明倫館はその中でも唯一、和洋折衷建築様式の庁舎であり、庁舎と土蔵が両方残されている。他の3棟は全て洋風建築であり、土蔵は残っていない。また、建設仕様書や設計図等、建設にかかわる経緯の書類が全部残っている上、建物の内部は柱の撤去などの改造がされているが、図面が残っており、当時の姿がイメージできる状況になっている。

さらに現在活用されていることも評価すべき点。地元の承諾を得たのち、登録文化財として申請していく。

(6) 掲額の調査について

少なくとも年度内に1回位は調査をするように時間をとりたい。

(7) 『辰野町資料』の発行計画について

遅延しているが、年内に発行を目指している。

(8) その他

・中央道の遺物

伊那市羽広の考古資料館にあった中央道の遺物は、県から各市町村に移管するという
ことで5月に搬入をした。

・雨沢の五十鈴山文庫

大正の頃に寄贈された、平田篤胤など国学の関係の冊子類や関連する文書100点以上、
町誌編纂の資料と同じ扱いで、歴史資料として教育委員会へ寄贈していただけるとい
う話があった。

4. その他

5. 閉 会